

# とらのもん

- 知っておきたい呼吸器感染症の基礎知識
- 連携医療機関のご紹介  
～かおる美容形成外科クリニック～
- 新しいドックが始まりますーレディスドックのご紹介ー



〈落ち葉〉

基本理念：医学への精進と貢献、病者への献身と奉仕を旨とし  
その時代時代になしうる最良の医療を提供すること

## 公開講座のお知らせ

『知っておきたい呼吸器感染症の基礎知識』

分院内科総合診療科部長 川畑 雅照

日時：11月15日(土) 14:00 - 15:30

場所：本院 本館3階 講堂(入場料無料)

※諸般の事情により、変更・延期・中止になる場合がございます。  
お電話・ホームページ等で開催の有無をご確認下さい。



# 知っておきたい呼吸器感染症の基礎知識

分院内科総合診療科部長 川畑 雅照  
(呼吸器科)

## 【はじめに】

感染症とは「細菌やウイルスなどの病原体が、体の中に侵入して、体がこれに対して反応を起す」疾患です。呼吸器感染症とは「咽頭・喉頭(のど)から、気管や気管支を経て、肺胞にたどり着くまでの呼吸器系の感染症」で、最も頻度の高い感染症です。

## 【1. かぜ症候群】

上気道(鼻やのど)に、主にウイルスが感染して発症します。主な症状は、鼻水や鼻づまり、のどの痛み、咳、倦怠感、頭痛などです。原因の90%以上はウイルスで、その種類は200以上にもなります。通常は3日前後を症状のピークとして自然治癒します。



治療は症状を抑える対症療法で、痛みや熱をとる消炎鎮痛薬、鼻水を止める抗ヒスタミン薬、咳を静める鎮咳薬などが用いられます。抗生物質はウイルスには効きませんが、かぜの後に細菌が感染して肺炎などを発症するのを予防するために投与されることもあります。

## 【2. インフルエンザ】

インフルエンザウイルスによって起こる急性の感染症です。通常のかぜと比べて、症状が重篤で、伝染力も強く毎冬流行します。症



## 川畑 雅照



<専門分野>  
呼吸器内科全般  
呼吸器感染症  
医学教育

<所属学会等>  
日本内科学会  
認定医・専門医・指導医  
日本呼吸器学会 専門医  
日本感染症学会 専門医  
日本化学療法学会会員  
日本肺癌学会会員  
日本呼吸器内視鏡学会会員  
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会会員  
日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会会員  
American Thoracic society会員  
American Collage of Chest Physician会員  
European Respiratory Society会員

状の強いA型と軽症のB型があります。38℃を越える高熱で突然発症し、同時に悪寒や全身倦怠感、関節痛、筋肉痛などの全身症状が出現します。その後、のどの痛みや咳などが現われ、1週間以内に回復します。高齢者や基礎疾患がある場合、重症化しやすく、肺炎や脳症などを合併し生命に危険が及ぶこともあります。

タミフルなどの抗インフルエンザ薬は、ウイルスが体内で増えるのを抑える薬です。症状が出てから48時間以内で効果が期待できます。



予防にはワクチンが有効です。血液中の防御因子の産生を促し、のどや鼻から侵入したウイルスが全身へ広がるのを防ぐことができます。A型インフルエンザの70～80%に有効で、高齢者では肺炎の合併による死亡率の減少する効果もあります。

### 【3. 肺炎】

肺炎は、肺胞を中心に、主に細菌が感染する疾患です。かぜの後に発症することも少なくありません。持続する高熱、強い咳、黄色い痰、呼吸困難、胸痛などの症状があります。肺炎は日本人の死因の第4位で、特に高齢者にとっては恐い病気の一つです。

治療には、細菌の発育を抑える抗生物質が用いられます。多くの種類があり、患者さんの病状や病原微生物の種類によって使い分けられます。

肺炎の中で最も頻度の高い肺炎球菌の感染予防にはワクチンが有効です。1回の接種で5年以上効果が持続し、高齢で慢性疾患のある方に推奨されています。



ロイドの吸入薬が用いられます。

### 【おわりに】

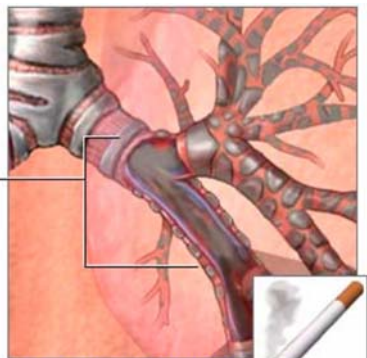
「かぜは万病のもと」と言いますが、あらゆる呼吸器感染症の最初の症状は、かぜに似ています。症状が強かったり長引いたりした場合、肺炎などの重篤な呼吸器感染症を起こしているかも知れません。おかしいなと思ったら早めに医療機関を受診しましょう。それから、予防も大切です。ワクチン接種も忘れずに。



### 【4. 気管支炎】

空気の通り道である気管支の感染症で、急性と慢性のものがあります。急性気管支炎は、マイコプラズマなどの細菌やウイルスによる感染症で、激しい咳や痰、発熱などが特徴です。慢性気管支炎は、喫煙が原因で感染が関与しないこともあり、慢性閉塞性肺疾患(COPD)とも呼ばれます。

治療には細菌感染が原因の場合は抗菌薬が投与されます。また、COPDに関連した慢性気管支炎には、気管支拡張薬や抗炎症薬であるステ



慢性気管支炎(COPD)

喫煙

主に扱う疾患	
<b>睡眠時無呼吸症候群</b> 睡眠時無呼吸症候群について症状と治療の紹介をしています。	<b>肺がん</b> 肺がんについて症状と治療の紹介をしています。
<b>細菌性肺炎</b> 細菌性肺炎について症状と治療の紹介をしています。	<b>悪性中皮腫</b> 悪性中皮腫について症状と治療の紹介をしています。
<b>風邪・インフルエンザ</b> 風邪・インフルエンザについて症状と治療の紹介をしています。	<b>喘息</b> 喘息について症状と治療の紹介をしています。
<b>結核</b> 結核について症状と治療の紹介をしています。	<b>間質性肺炎</b> 間質性肺炎について症状と治療の紹介をしています。
<b>非結核性抗酸菌症</b> 非結核性抗酸菌症について症状と治療の紹介をしています。	<b>COPD</b> COPDについて症状と治療の紹介をしています。

虎の門病院分院呼吸器科ホームページでも扱う疾患をご紹介します。

ホームページアドレス  
<http://www.toranomon.gr.jp/site/htdocs/kokyyuu>

# かおる美容形成外科クリニック

<http://www.kaoru-clinic.com>

## 〈院長あいさつ〉

美容形成外科というと、美容手術を連想し特別な方が行くところ、という印象かもしれません。

しかし当院では手術によらない美容医療を主に行っています。私は形成外科医として多くの手術に携わってきました。形成外科では機能はもとより形態的にきれいな状態を目標に治療を行います。しかし傷跡をよりきれいにしたい、手術で治せない色素沈着に対してはどうしたらよいのか？といった患者さんの声にお応えしたいという思いでクリニックを開業し、8年になります。クリニックではしみ、しわ、ニキビ、ほくろ、いぼ、あざや刺青除去、多汗症、脱毛レーザー脱毛はもちろんのこと、乾燥肌、化粧品などのお肌全般のご相談や一般皮膚科診療も行っています。

保険適応のある疾患については保険診療で行います。治療内容によっては自費診療になりますので、費用をご説明した上で治療に入ります。

診療で心がけていることは「常に最新の治療を勉強し、その中からわたし自身が受ける側に立ったとき、満足のいく医療を患者さんに提供すること」小さな相談も是非ためらわずご相談ください。

## 院長 佐藤 薫 (さとう かおる)

### ●略歴

昭和大学医学部卒  
昭和大学藤が丘病院 形成外科 麻酔科  
昭和大学形成外科  
埼玉県立小児医療センター 形成外科  
虎の門病院形成外科 (現在 非常勤)



### ●所属学会

日本形成外科学会認定専門医  
日本皮膚科学会正会員  
日本美容外科学会正会員  
国際美容外科学会正会員  
日本レーザー医学会正会員

### ●研究会

キレイをサポートする女医の会



〈受付〉



〈待合室〉



〈処置室〉



〈スタッフのみなさん〉

## 【診療日・診療時間】

月・火・木・金  
10:00~13:00 14:30~18:00  
土 10:00~13:00 (午後休診)

【休診日】 水・日・祝日

保険診療医療機関です。保険証をご持参ください。  
治療の内容により一部保険外診療(実費)となります。

## 【診療内容】

### ●形成外科外来

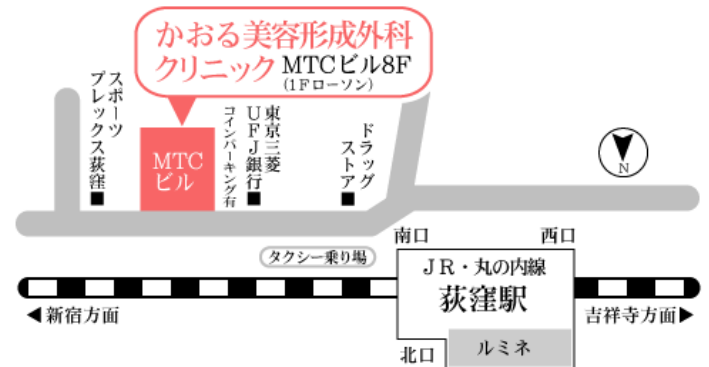
傷跡 色素沈着 あざ いぼ ケロイド 皮膚腫瘍 など

### ●皮膚科外来 (スキンケア外来)

にきび、湿疹、乾燥、かゆみなどトラブルのある肌を健康に  
さらに美しい肌へ導くためのスキンケア指導も行います

### ●美容外来

にきび しみ しわ たるみ 毛穴の開きや黒ずみ  
痩身 トータルアンチエイジング



## かおる美容形成外科クリニック

- 住所 東京都杉並区荻窪5-30-16 MTCビル8階
- 電話 03-3392-7017 (予約制)
- 交通 JR中央線・地下鉄丸の内線「荻窪駅」南口より1分
- 駐車場 当院の駐車場はございません  
隣接および周辺の駐車場を御利用ください

# 新しいドックが始まります — レディースドックのご紹介 —

健康管理センター 横尾 郁子

健康管理センターの人間ドックに新しく「レディースドック」なるものがお目見えしました。

現在、日本人の0歳児の平均余命（平均寿命）は、男性で75.0歳、女性ではなんと85.8歳で、女性はダントツの世界一です。長い人生、できれば健康に、元気で過ごしたいのは誰しもが願うところですが、当センターでは「女性の時代を、いきいきと健康に過ごしていただくために」をコンセプトに、レディースドックを開始いたしました。

ここでは、レディースドックの目玉である「レディースコース」についてご案内いたします。レディースコースでは、内科検診、骨密度測定、婦人科検診（子宮癌検診、経腔超音波検査）、乳房検診（超音波検査、マンモグラフィ）、MRIを行います。おのおの検査の概要をご紹介します。



〈レディースドック待合〉  
専用の待合となっております

## ★ 内科検診

問診、聴診、血圧測定、甲状腺の触診などを行います。

## ★ 血液検査、尿検査

肝機能、腎機能、コレステロール、中性脂肪、貧血などの一般的検査のほか、甲状腺関連ホルモン、リウマチ因子、子宮内膜症や卵巣癌などで上昇しやすい腫瘍マーカーのCA125や、骨粗鬆症の指標になる尿中のNTXなど、女性に多い、あるいは女性特有の疾患に焦点を当てて検査をします。

## ★ 骨密度検査

女性は、更年期以降、女性ホルモンの減少に伴い骨密度が急激に減少します。その結果、70歳代では半数以上の方が骨粗鬆症になり、骨折のリスクが高まります。骨密度の測定にはいくつかの方法があり、また、測定部位も手首やかかと、大腿骨（太股の骨）、腰椎（背骨）などがありますが、当センターではもっとも正確な方法であるDXA法というレントゲン撮影法を用い、早くから減少が始まる腰椎の骨密度を測定することで、より正確に、早期からの変化を捉えていきます。

## ★ 婦人科検診

【子宮癌検査】子宮の入り口（子宮頸部）および子宮の奥（子宮体部）の癌検査を行います。子宮頸癌は無症状のうちにゆっくり進む癌で、受診された方全員に行います。一方、子宮体癌は病気のごく初期から出血があり、癌検診の診断精度も頸癌に比べると劣るため検診が本当に有効かまだよくわかっていません。検査時に痛みや出血などもあるため、これらのことをふまえた上で、ご希望の方のみに行っています。また、お産をされていない方や閉経後の方などは子宮の入り口が狭いため、体癌検査が行えないことがあります。

【経腔超音波検査】膣からの超音波検査で、主に子宮筋腫や卵巣腫瘍の診断を行います。また、子宮体癌の検査が行えなかった方は、超音波検査で子宮内膜（子宮の内側を覆っている粘膜）の厚さを見ることである程度代用することができます。骨盤内のほとんどの腫瘍はこれで診断することができますが、超音波検査単独では見えにくい腫瘍もあります。

## ★ MRI

磁気（磁石の力）を利用して、主に卵巣腫瘍など骨盤内の腫瘍の診断を行います。いろいろな方向から細かい断面で写真を撮って見ていくため、膣から離れた位置にある腫瘍や、超音波検査単独ではわかりにくいような腫瘍も診断することができます。超音波検査と組み合わせることによって、診断精度がよりアップします。MRIのあるコースとないコースがあります。



〈MRI〉

レディースコースは、午前11時から始まり、所要時間は昼食を挟んで約4~5時間です。レディースドックは、婦人科検診、乳房検診単独でも、日帰りドックのオプションとしても受診いただけます。

正面玄関や産婦人科外来にパンフレットをご用意しておりますのでご覧ください。

乳房検診については、次回の広報誌でお話いたします。



〈パンフレット〉

健康管理センター

電話: 03-3560-7777 受付時間 11:00~16:30

# 健康こぼれ話（11月）

煙草の話（最終回） 健やかで豊かな生活のために：タバコは悪魔の贈り物

タバコの話その歴史から始め、生物学的特徴、医学的問題など、様々な観点から述べてきました。人間はタバコを神への交信の手段（畏れる神々への供え物）として使い始めたようです。今も多くの人がタバコを吸っています。しかし千数百年以上の変遷を経て、その意味は少しずつ変わってきました。

新世界に渡ったヨーロッパの征服者や植民者たちは、過酷な状況の中でタバコに一時の休息と安らぎを求めました。近世ヨーロッパでは万能薬としてもはやされた事もありました。近代になりアメリカ大陸では、タバコに国家の存立と基盤を求め、ヨーロッパの絶対主義国政は財政基盤の強化の礎としました。19世紀になると、ブルジョアが共和制や自由主義を標榜する象徴としてシガーをくわえました。その後シガレットが主流になり、資本主義の時代がやってきました。

人々は一時のくつろぎとリフレッシュをタバコに求め、タバコは英米タバコトラストにより世界制覇を果たしました。現在はタバコ多国籍企業とその企業論理を用いて人々を籠絡し、喫煙者は毎日タバコを“自分の意思で吸っている”様に思われています。なぜ人はわざわざ“煙”を吸うのでしょうか。

通常人間は煙を吸うとむせたり、息苦しくなったりします。場合によっては気道を火傷し、一酸化炭素や有害ガスを吸い込んで死に至ることすらあります。ところがタバコや大麻となると、好んで吸う人がたくさんいます。それは快感が得られるからです。タバコにおいては“ニコチン”による薬理作用です。ニコチンの少ないタバコなどタバコではありません。タバコを吸う人は“自分の意思で吸っている”と言いますが、実はそうではなくそのつもりにされているのであって、人格崩壊を伴わない依存症にされています。タバコ業者はタバコが人間にこの依存症をもたらしてこそ、継続した利益が得られるのです。そのことをタバコ業者はずっと黙っていました。“ライト”とか“マイルド”はまやかしです。

さらにニコチン以外にも大きな問題があります。長時間かけてゆっくり確実に効果を現す有害物質です。どんなに工夫してもこれをタバコの煙から無くすことはできません。物を“いぶ

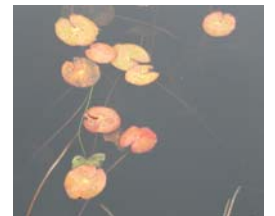
す”ことにより発生するガスは人体にとって必ず有害です。そしてそれは、煙を吸うことがタバコの目的である限り、決してなくすことはできないのです。

タバコ産業は「タバコは社会的に認められた習慣であり、自分たちは合法的嗜好品であるタバコの製造者だ」と言っています。しかし、タバコが健康を害することを承知しながら、あいまいにしか対応してきませんでした。その一方で若者や新興市場、女性を取り込むことには力を注ぎ続け、様々なイメージ戦略を展開してきました。

タバコは当初の“神へのささげもの”“靈草”という位置付けから、“休息や安らぎを得るもの”へ、さらに“万能薬”“ブルジョアの象徴”へと、時代とともに意味合いを変えてきました。近年に至って“自由意志による嗜好品”とされていながらも“健康を害するもの”でもあるということが医学的に明らかにされてきています。“神へのささげもの”だったタバコは、実は“悪魔からの贈り物”だったということが白日の下にさらされているのです。

喫煙は全身病です。生活習慣病です。是非この言葉の意味することをよくご理解して下さい。その上でどうするかを考えてみて下さい。知恵ある皆様のことですから答えは明らかでしょう。自分の健康は自分で守る以外にありません。健康の最高の担い手はあなた自身なのです。

撫子の  
暑さ忘るる  
野菊かな 芭蕉



〈ひつじぐさ〉

（参考文献等）

- ・禁煙支援マニュアル
- ・喫煙と健康に関する検討会報告書
- ・人口動態統計月報
- ・効果的な空間分煙対策委員会報告  
(以上 厚生労働省ホームページ)
- ・生活習慣改善による癌予防法の開発と評価  
(国立がんセンターホームページ)
- ・喫煙と健康—喫煙と健康問題に関する報告書(厚生省編)
- ・生活習慣と主要部位のがん(日本がん疫学研究会編)
- ・大規模コホート研究にもとづく部位別にみたライフスタイルとの関係  
(平山雄)  
(ASH編)
- ・悪魔のマーケティング  
(上野堅空)
- ・タバコの歴史  
(伊佐山芳郎)
- ・現代タバコ戦争  
(その他)

## 富山の薬売り

学会出席のため9月中旬に富山に行った。いつものことながら、学会はほんのお付き合いで、もっぱら「白エビ」とか「ノドクロ」(鱸のこと、アカムツとも言う)など日本海の珍味を試みたのである。東京では味わえない新鮮さだったし、またお値段も手頃だった。

富山と言えば「薬売り」である。これについても知識を仕入れねばと急に思い立ち、学会最終日の午後をさぼって、民俗民芸村の「売薬資料館」で薬のお勉強をすることにした。

率直な印象は「なんじゃこれは」ということだった。お薬を民家に配って歩くいわゆる「富山の薬売り」は、まるで烏天狗か忍者のような装束だった。柳行李を背負って道なき道をたどり、各地のお得意さんを訪ね廻ることは、当時たいへん難儀なことだったろう。今日薬売りは、背広にネクタイ、バイクか小型車に乗るセールスマンに変身している。大量のサンプルを運ぶには楽になったが、オマケを配り、あれこれの情報を伝えてお客と仲良くするセールスマンの本道は、時代を問わずいつも同じなのである。

富山藩は加賀の前田家からの分家である。二代目藩主の前田正甫公が殖産として薬のセールスを奨励したが、それが薬売りのそもそもの始まりであった。佐賀県や奈良県からも配置薬の商人が出ているが、人数にしても規模にしても富山は今日でもダントツなのである。

薬の多くは草根木皮、すなわち植物を原料にしている。同じ材料でも成分が違えば、効果は大きく異なる。よく効く薬という評価を保ち続けるには、材料である動植物についての広い知識を必要とする。昔は博物学が最先端科学であった。

その意味では、修験道すなわち山伏たちの山や自然についての知識やその連絡網がカギを握っていた。「資料館」を見て、ふとこのことに気付いたのである。昔の薬売りと山伏の服装が似ていたことには理由があったのだ。

かつて日本に200余あった藩同士では、特定財源もない時代だったので道路は整備されず、往来も困難だった。配置薬が入った重たい柳行李を背負って、置き薬を入れ替える薬屋さんの持ってくる「紙風船」や「塗り箸」「そろば

ん」など持ち重りのしないオマケは、大いに重宝された。「役者絵」や「東海道五十三次の版画」などのような別世界の文化情報は、大いに待ち焦がれられたのである。

こういった情報の伝達は、実は隠密の世界に通ずるものでもある。だから各藩では自分のところの情報が流れ、ひょっとして幕府に嗅ぎつけられたら一大事と警戒した。さらに薬の値段だって馬鹿にならない。富山の薬売りの入国を禁制にした国もあった。とくに薩摩藩がそうだった。

だが、富山の薬売りが考え出したバーター取引によって、ふたたび彼らの薩摩への入国が可能になった。それは次のような経緯による。

北前船(北前というのは日本海の意味、前の発音は廻や米にも通じ、日本海から関西地方に米を輸送する船である)には、お米と一緒に蝦夷地(北海道)の昆布なども積まれていた。当時の清国(中国)では、昆布が不老不死の妙薬として珍重されていた。薩摩の属国だった琉球という場に、昆布を持ち込み、中国産ジャコウやリュウノウなどと交換する密貿易が行われていた。それによって富山は漢方薬の原料を得ることが出来た。また薩摩方が得た多額の資金は、火薬や弾丸を製造する軍事工場を建設し、反射炉や溶鋳炉を備えることに回された。かくして島津藩は明治維新という革命に主役として躍り出たのである。



(柳行李)

(売薬さんの変遷)

『先使用后利「癒しの旅」～富山売薬さんの歩んだ道を訪ねて～』(家庭薬新聞社製作・広貴堂発行)より

5,250

3,150

### 本院診療受付時間(初診)

内科	8:30 - 10:30
小児科	8:30 - 11:00
皮膚科	8:30 - 10:30
麻酔科	13:00-14:30(水以外)
外科	8:30 - 11:00
脳外科	月曜～金曜 8:30-11:00 月(第2・4)・金 13:00-14:30
整形外科	8:30 - 10:30
形成外科	8:30 - 10:30
産婦人科	8:30 - 11:00
泌尿器科	8:30 - 10:30
耳鼻咽喉科	8:30 - 10:30
眼科	8:30 - 10:30
歯科	8:30 - 10:30

〒105-8470 東京都港区虎ノ門2-2-2

TEL 03-3588-1111 (代)

地下鉄銀座線虎ノ門駅3番出口 徒歩5分

車でご来院の方：有料駐車場があります

(30分：300円 患者さん割引あり)

〒213-8587 川崎市高津区梶ヶ谷1-3-1

TEL 044-877-5111 (代)

田園都市線梶ヶ谷駅より徒歩15分

宮崎台駅よりバス5分

(1時間に5～3本)

〒330-0081 さいたま市中央区新都心2番1

さいたま新都心合同庁舎2号館1階

TEL 048-601-1347

JRさいたま新都心駅 徒歩5分

JR埼京線 北与野駅 徒歩8分

(診療科) 内科・精神科・歯科

平日AM 9:00～11:30 PM 1:30～4:00

### 分院診療受付時間(初診)

	午前 8:30-10:30	午後 1:00-3:30
内科総合診療科 (一般内科)	○	○
内分泌代謝科	木	×
呼吸器科	金	水(第4×)
肝臓科	週による	週による
消化器科	×	水
神経内科	×	月
腎センター(内科)	月・火・水・木	月(第1×)・火・金
腎センター(外科)	月・火・金	×
精神科	×	月・火・水・木
循環器センター	×	水(第1)
外科	火・木(第2・4)	火・水・木・金
整形外科	○ ※月は午前10時～	×
皮膚科	×	火(第2・4) ※午後1時～2時
小児科	×	月・水・金
泌尿器科	×	木
歯科	○	○

予告なく変更することがありますので、診療前に電話等で各科の診療の有無を確認の上、ご来院ください。

#### 虎の門病院付属

健康管理センター・画像診断センター

(直通) 03-3560-7777 (平日11:00～16:30)

ホームページ <http://www.toranomon-dock.jp/>

他の病院におかかりの患者さんで、ご自分の病状や治療方針について現在おかかりの医師以外の意見をお求めの方へ対し、当院各科専門医(部長・医長クラス)による特別相談をお受けしております。(予約制)

(料金) 60分：42,000円(延長30分毎：21,000円)

本院医療連携部 03-3588-1111 内線4106

分院医療連携部 044-877-5111 内線5141